



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



今日は、「大寒」！マラソン大会の試走をしました。

－Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

今日は、朝から大変冷え込みました。私の車の外気温計では何とマイナス3℃でした。まあ、北海道では、先日マイナス24℃なんて言われていましたので、それに比べればまだまだとなりますが、やはり、この辺りでは大変厳しい寒さと言えると思います。それもそのはず、今日は、二十四節気の「大寒（だいかん）」です。一年で最も寒い時期となりますね。そのような極寒の時期となりますが、明日は、七十二候の「款冬華（かんとうはなさく）」となります。款冬とは、春の山菜フキノトウの別名だそうで、本来、中国では款冬花とは広く大陸に自生するフキタンポポのことだそうです。平安時代の「本草和名」で「款冬」（和名）也末布布岐（ヤマフフキ）とされて以来、日本ではフキノトウをさすようになったそうです。凍てつく野山の土を割ってニョキッと顔を出すフキノトウは、野菜で知られるフキの花です。2年生の国語の教科書に「ふきのとう」という教材があります。正に、春を告げるお話です。寒い寒いと言いつつも、季節は廻り、春の兆しが少し感じられる頃でもありますね。とはいってもやはり厳しい寒さであることには変わりありません。寒さ対策をしっかりとして、体調を崩さないように気を付けたいものです。

今日は、マラソン大会を控え、全校生で試走をしました。本校では、1・2年生（約1.1km）、3・4年生（約1.7km）、5・6年生（約2.3km）の3コースとなっています。学校周辺の道を走ります。子供達は、ここ何日かでコースの下見に出かけていました。きっと、コースを回りながら、ここは坂道、ここは急カーブ、ここは直線、ここでスピードアップ、…等々、注意点や戦略を巡らせコースを歩いたのではないのでしょうか。

このようなことを考えてマラソン大会に臨む子供達があります。マラソン大会、保護者の皆様はどのような思い出がおありでしょうか。今日の試走は、とてもよい天候でした。青空が広がり、風は少しありましたが、コンディションとしてはまずまずといったところでしょうか。子供達も一生懸命走っていました。今日の試走のタイムはどうだったのでしょうか。思いの他よかった、悪かった、しんどかった、いい感じだった等、それぞれ思ったに違いありません。1年生は初めてのマラソン大会、6年生は最後のマラソン大会のように、それぞれの学年での思いはあると思います。偶数学年（2・4・6年）は、昨年より順位を上げる、自己新記録を出す等、同じコース、同じ距離ならではの目標があります。また、奇数学年（3・5年）は、コースが変わり、距離が長くなるので、新たな気持ちで取り組み、新たな目標ができてくるのだと思います。今日、走路の立ち番をしている時、お会いした地域の方から「今日は、マラソン大会ですか？」とお声をかけていただきました。「マラソン大会」という活動は、日本の学校で本当に昔から行われている活動だと思います。ある意味、老若男女を問わず、日本人なら、誰もが共通認識、想像できる、経験を共有できる活動なのだと思います。少し、大きな話になってしまいましたが、この「マラソン大会」という子供達にとっては、好き嫌いも多少ありますが、少し長い距離を走るといふこの活動のよさを改めて思いました。

大会の開催については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり、心配な状況であることは間違いありません。子供達にとって、**値打ちのある、価値のあるこの令和3年度のマラソン大会が無事に実施できることを願っております。**後、一週間と迫ってきました。子供達には、健康管理、体調管理をしっかりとして、出来得る対策を講じて、出来るだけベストな状態で、マラソン大会に臨めるように努力して欲しいと思います。ただ、子供達の健康管理・体調管理については、保護者の皆様のお力はどうしても必要です。ご理解とご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。